

# 地域の通貨として活性化に貢献

## 長岡市共通商品券協同組合

市内の商店に握られている、火焔土蔵がデザインされたステッカー。これは「長岡市共通商品券」のステッカーである。「商品券が使える店舗」と「商品券が使える、商品券の販売もしている店舗」の2種類がある。長岡市民にとって身近なデザインの商品券を取り扱っているのが「長岡市共通商品券協同組合」（長岡市東区之上町大原幸吉理事長）である。同組合の事務局・渡部さんに話を伺った。

発行額は約3億円、約30万枚

同組合の設立は昭和62年5月。現在地へは平成



長岡市共通商品券協同組合事務局内

23年9月に移転した。組合員は、平成24年2月末現在で67社。商品券の利用可能な店舗は300店舗以上になる。さらに商品券の利用のみでなく商品券の購入（お店が発行する）も可能な店舗は90店舗以上になっている。

また同商品券は、家電・住宅エコポイントと交換できる。現在累計で4500万円分を交換、発行しているという。

平成22年5月～平成23年4月までの1年間で、

発行額は約3億円、枚数にして約30万枚を発行した（エコポイント額は含まず）。

同商品券は、設立当初は500円の設定だったという。しかし平成3年から1000円に変更、500円券の発行は停止した（使用は現在も可能）。

今年度は初めての試みとして「商品券1万円が1万1000円に」として抽選で2000人に1000円分のお年玉がつく企画を行った。積極的にPRした結果、多数

の応募が寄せられ、抽選したという。同企画が好評であったことを受け、内容を再度検討した上で、来年度も実施する方向とのこと。

平成18年5月発行分からは利用促進のため約4年の有効期限を付けた。これに伴い無期限の商品券の販売は中止した（使用は現在も可能）。

長岡市内のどこでも使用可能



ゴルフ場や施設でも利用可能である

さらに今後について渡部さんは「アオーレがオープンしてみないとわかりませんが、人の流れに期待したいです」と新たな駅前の動きに思いを込める。

また「小売業（スーパー）だけでなく、温泉施設やタクシー、ゴルフ場など、いろんな場面で使用できる商品券ですので、お気軽にご利用ください。」

有効期限付き商品券です。お手元にある商品券の期限を今一度確認の上、期限までに利用ください」とPRに余念がない。

同商品券は、同組合事務局でも購入可能である。事務所の営業時間は午前9時から午後5時まで（土曜・日曜祝日を除く）。問い合わせは同組合 電話86-7101へ。